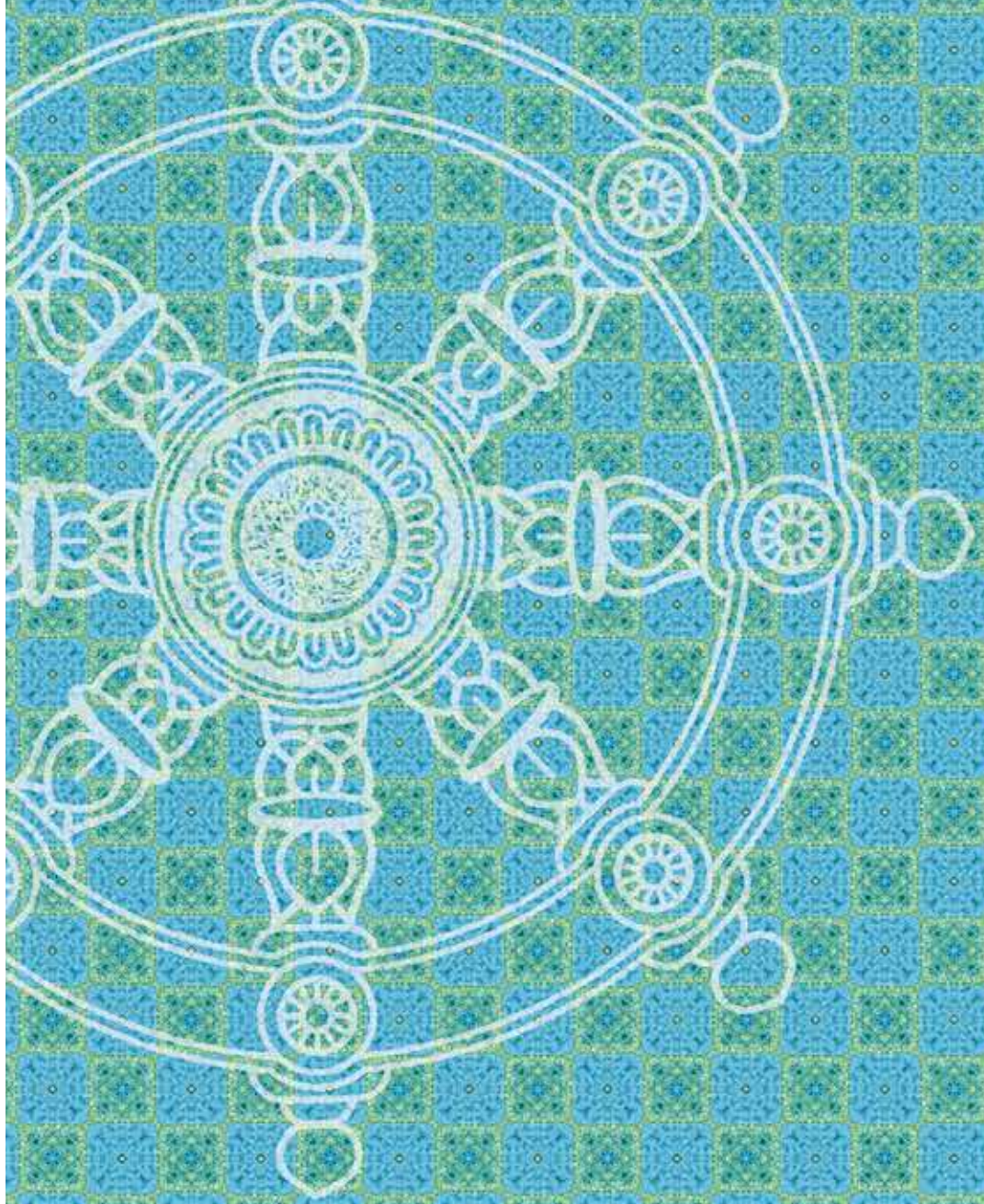


道

みち

公益財団法人 仏教伝道協会

No. 10
2021



BDK
Newsletter



10

CONTENTS

道みち

02 公益財団法人 仏教伝道協会 令和2 (2020) 年度の主な活動

1. 出版事業

- 「仏教聖典」頒布の今 令和2 (2020) 年度の頒布状況等
- 令和2 (2020) 年度 当協会出版物のご紹介
- 「輝け!お寺の掲示板大賞2020」開催
- 第5回「こころの絵本大賞」受賞作品決定
- 第7回「一日一訓カレンダーフォトコンテスト」開催
*写真展「第6回一日一訓カレンダーフォトコンテスト」
- 「野生司香雪とサルナートの仏伝壁画展」に「釈尊絵伝」出展
- 紙芝居「ブッダ〜おしゃかさまの一生〜」販売
- 「仏教聖典のありがたいことばキャンペーン2020」開催

07

2. 助成・表彰事業

- 奨学金事業報告
*「外国人留学生奨学金」制度のご紹介
*「日本人留学生奨学金」制度のご紹介
- 追悼 辛嶋静志先生
- 「第54回仏教伝道文化賞」贈呈式開催
- 令和2 (2020) 年度「助成金事業」報告

14

3. 啓蒙活動・支援事業・仏教講座の開催

- 仏教伝道協会 公式LINEアカウント開設
- 「インスタ法話〜こころが整う ほとけさまのお話〜」ライブ配信
- オンライン法話会「週刊法話ステーション」放送開始!
- 築地本願寺パイプオルガン上納50周年記念
「第20回仏教音楽祭 Buddhaspel〜パイプオルガンのタベ〜」開催
- 「仏教ヨガプラス〜はじめての瞑想〜」開催
- 令和元 (2019) 年度「沼田智秀仏教書籍優秀賞」受賞記念講演
- 仏教をより身近に 「仏教伝道掲示板」2020年に好評だった文言ベスト10
「仏教ガチャガチャ」の紹介
- 各種定例講座のご案内
*「仏教聖典」を経営に活かす会・生活に活かす会
*仏教を初歩英語で学ぶ会 年間開催報告
京都開催「英語で学ぶ日本仏教の基本
-Learning the Basic of Japanese Buddhism in English-」
*仏教ヨガ講座 年間開催報告
- 令和2 (2020) 年度 BDKシンポジウム開催
*第17回「たった一度の人生をどう生きるか」
*第22回「新たな釈尊伝」
*第23回「仏教で人は幸せになれるのか」
*第24回「仏教と緩和ケア」
- 令和2 (2020) 年度中止・延期講座情報

27

4. ちょっとひと休み 現代人のための仏教ヨガ+瞑想のすすめ

30

海外協力機関のご紹介

- 米国仏教伝道協会 ●ハワイ仏教伝道協会 ●メキシコ仏教伝道協会
- 台湾仏教伝道協会 ●アジア仏教伝道協会 ●ヨーロッパ仏教伝道協会

38

“ささえあって” 「人生(じんせい)」



公益財団法人 仏教伝道協会
会長 木村 清孝



公益財団法人 仏教伝道協会
BUKKYO DENDO KYOKAI

BDKニュースレター No.10 2021-4,000

令和3 (2021) 年6月1日発行 (毎年1回発行)

発行 公益財団法人 仏教伝道協会
〒108-0014 東京都港区芝4-3-14
電話: 03-3455-5851(代)
FAX: 03-3798-2758

編集 江口 郁 (公益財団法人 仏教伝道協会)
印刷 株式会社アーク/デザイン 田所淳一



心豊かに 「新たな日常」を目指して

平素より仏教伝道協会の事業にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

令和2（2020）年は、新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延の影響を受け、私たちの生活は、様々な面において制約を受けることとなりました。「三密を避けましょう」「人と会うのを控えましょう」「自粛をお願いします」など。

しかし、そのような生活の中でも、人びとは今できることを考え、オンラインを活用したり、テレワークを広げたり、工夫をしながら現実の困難を乗り越えようと、今日まで努力を続けてきています。

当協会も予定していた活動を中止したり、変更せざるを得なかったりしたことが色々とありました。けれども、本誌にもご紹介の通り、感染の状況や安全性を見極めつつ、オンラインの活用など、新たな方法を取り入れながら、出来る限りの活動を実施してまいりました。これもひとえに、私どもの活動の意義をご理解くださり、ご協力・ご支援くださっている皆さまのお蔭です。心より御礼申し上げます。

今後の状況については、誰も確かなことを述べることはできないでしょう。しかし、私たちが進むべき道は、はっきりしています。現在のいわゆるコロナ禍の事態が改善していくことを願いつつ、心豊かな「新しい日常」を世界のすべての人びとと分かち合うために、必要なことを真剣に考え、引き続き精進してまいります。

合掌

1 出版事業

Activity 01 「仏教聖典」頒布の今
令和2 (2020) 年度の頒布状況等

〈令和2 (2020) 年の「仏教聖典」頒布状況〉 1月～12月

	件数	寄贈冊数	販売冊数	
国内	ホテル(新規)	20	4,708	
	ホテル(補充)	28	2,954	
	病院(新規)			
	病院(補充)	4	27	
	学校(販売)	8		10,736
	学校(寄贈)	200	29,407	
	寺院(販売)			1,714
	寺院(寄贈)		10	
	一般他販売			1,565
	書店			1,308
	寄贈		180	
国内頒布数計		37,286	15,323	
海外	海外協力機関		74,427	
	ホテル	2	180	
	その他		302	
	海外頒布数計		74,909	
		112,195	15,323	
総計			127,518	

令和2 (2020) 年度の「仏教聖典」頒布は、コロナ禍により、大変厳しいものとなりました。訪日外国人旅行者数は、平成10 (1998) 年以来最少の約411万人。また国内での移動自粛も続く中、多くの宿泊施設が休業・閉館を余儀なくされて

(2012) 年より、韓国の東横イン13軒で各部屋に設置していただいています。仏教系学校・保育施設等への頒布は、幸いにしてコロナウィルスの感染拡大の前に大半を実施することが出来たため、前年度とほぼ同じ40,143冊を頒布しました。

しかし予定していた中国およびインドへの「仏教聖典」寄贈計画は延期となり、その他にも法要、各種集会の中止・縮小により、残念ながら「仏教聖典」頒布の多くの機会が失われました。このような中、新しい形で「仏教聖典」に触れていただくため、2020年4月から当協会公式サイト上で各国語「仏教聖典」PDF版の無償公開を開始。世界各地より自由に「仏教聖典」



に触れていただく機会を提
供し、好評をいただいでい
ます。今後、状況が収束し
た際には失われた機会を取
り戻し、国内外への「仏教
聖典」寄贈を積極的に働き
かけていく予定です。
また「仏教聖典編集委員
会」を中心として『和文仏
教聖典』の改訂検討作業も
推進中です。これまでも「
仏教聖典」は時代に即して
改訂されてきましたが、よ
り良い内容にするべく、今
後も努力を続けてまいりま
す。



韓国の東横インのひとつ東横イン ソウル永登浦



客室内の様子



各客室に設置されている「韓国語仏教聖典」

Activity 02

令和2(2020)年度 当協会出版物のご紹介

毎年刊行している法話集『みちしるべ』の新シリーズ「六波羅蜜」が始まりました。新シリーズより構成を見直し、様々な宗派の僧侶3名が分担して「一日一訓カレンダー」の文言をやさしく説き明かします。初巻『布施―施しのこころ』は名取芳彦師(真言宗豊山派)、釈徹宗師(浄土真宗本願寺派)、吉村昇洋師(曹洞宗)にご執筆いただき、2020年6月に発刊しました。



BDK「英訳大蔵経」

また、「仏教聖典」のオーディオ版がaudiobook.jpより発売されました。これまでカセットテープ、CDと形を変え「仏教聖典」の音声を発売してきましたが、収録時間の関係上「仏教聖典」の一部を抜粋したものでした。今回のオーディオ版はテレビ番組やアニメのナレーション等でご活躍の奥田民義氏の朗読で『和文仏教聖典』を完全版として収録しました。当協会公式サイト上で視聴していただけますので、ぜひ耳でも「

また、「仏教聖典」のオーディオ版はaudiobook.jpより発売されました。これまでカセットテープ、CDと形を変え「仏教聖典」の音声を発売してきましたが、収録時間の関係上「仏教聖典」の一部を抜粋したものでした。今回のオーディオ版はテレビ番組やアニメのナレーション等でご活躍の奥田民義氏の朗読で『和文仏教聖典』を完全版として収録しました。当協会公式サイト上で視聴していただけますので、ぜひ耳でも「



みちしるべ『布施』

「仏教聖典」をお楽しみください。英訳大蔵経シリーズでは、七世紀に唐の道宣が編纂した仏教百科全書である『法苑珠林(3)』『法苑珠林

(4)」、そして四世紀に瞿曇僧伽提婆によって翻訳された『中阿含経(2)』を刊行しました。なお、公式サイトでは各国語「仏教聖典」や「英訳大蔵経シリーズ」なども無料で公開していますので、この機会にぜひご覧ください。

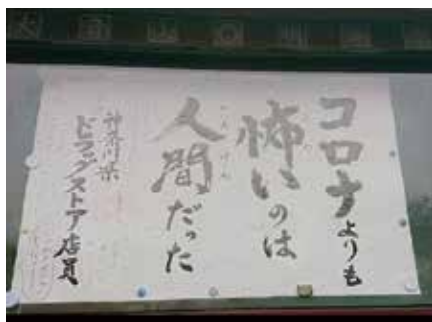
Activity 03

「輝け！お寺の掲示板大賞 2020」開催

昨年に引き続き第3回目となる「輝け！お寺の掲示板大賞2020」を開催しました。コロナ禍での開催にも関わらず、数多くのメディアに取り上げられた影響により第2回目の投稿数925作品を大幅に上回る1,677作品が集まりました。

大賞に選ばれたのは、「コロナより怖いのは人間だった(神奈川県・ドラッグストア店員)」(熊本県・明導寺)です。これは令和2(2020)年の3月頃に起こったマスク騒動の際のドラッグストア店員

「Twitter(ツイッター)のつぶやきをもとにした作品です。2020年は新型コロナウィルスの怖さが強調された一年でしたが、私たちが抱える恐ろしい煩惱をしつかり見つめてほしいという住職の願いが詰まった作品でした。また仏教伝道協会賞として3作品が選ばれ、その中の1つは「やられてもやりかえさない 仏教だ」(東京都・築地本願寺)でした。これは大ヒットしたドラマ『半沢直樹』のセリフを意識したものであり、仏教の非暴力の姿勢を表しています。他にも多数のすぐれた作品の投稿がありました。令和3(2021)年も7月



撮影者: zusa025nike (明導寺)

1日から第4回目の「掲示板大賞」を開催する予定です。詳細については当協会公式サイトをご確認ください。

<https://www.bdk.or.jp>

Activity 04 第5回「こころの絵本大賞」受賞作品決定

「読み聞かせを通じて、子どもたちに「こころ」の大切さを伝えたい」という願いのもと、第5回「こころの絵本大賞」を開催しました。【協賛―鈴木出版(株) 後援―毎日新聞社、(公社) 日本仏教保育協会、(公財) 全国青少年教化協議会】

第5回目となる令和2 (2020) 年度の募集には、幅広い年齢層から、計146作品の応募がありました。応募総数は、コロナ禍という状況もあってか、第4回目よりも大幅に増加しました。児童文学者の西本鶏介氏、絵本作家の藤本ともひこ氏、鈴木出版編集



第5回大賞「がまぐちさん」

優秀賞3作品、佳作4作品が決定しました。応募作品の中から大賞に選ばれたのは、山口亜耶氏の『がまぐちさん』。いまではあまり使われなくなつた「がまぐち」をテーマにした長波賀稔氏による厳正な審査の結果、大賞1作品、

ており、「がまぐち」のくちがねを通しての不思議な出来事をユーモラスに描いた作品です。大賞作品には賞金を贈呈、令和3 (2021) 年3月に出版されました。

Activity 05 第7回「一日一訓カレンダー」フォトコンテスト開催

写真展「第6回一日一訓カレンダー」(於 築地本願寺・平等院・瑞巖寺)

フォトコンテスト

■第7回「一日一訓」カレンダーフォトコンテスト

平成26 (2014) 年より毎年開催している当コンテストは、今回で第7回目を迎え、応募総数は805件2,722枚となりました。

<https://www.bdk.or.jp>

審査の様子

令和2 (2020) 年9月に審査会を開催し、表紙を含む32枚を選定、入選者に賞状と賞金を贈呈いたしました。入選作品は当協会公式サイトでもご覧いただけます。

■写真展 第6回「一日一訓」カレンダーフォトコンテスト 「第6回一日一訓」カレンダーフォトコンテストの入選作品の写真展を2020年4月25日から6月14日まで築地本願寺本堂(東京都中央区)、2020年6月26日から9月22日まで平等院ミュージアム(京都府宇治市)、2020年10月1日から11月4日まで瑞巖寺本堂(宮





築地本願寺写真展

城（宮城郡）にて開催しました。
 来場者数は、築地本願寺では約1万人、平等院では約12万1千人、瑞巖寺では約4万1千人と、多くの方がたに写真と仏教的な金言名句に親しんでいただきました。

06 Activity

「野生司香雪とサルナートの 仏伝壁画展」に「釈尊絵伝」出展

令和2（2020）年9月1日から9月6日まで、香川県立ミュージアム（香川県高松市）において開催された「野生司香雪とサルナートの仏伝壁画展」（主催：野生司香雪画伯顕彰会）に、仏教伝道協会所蔵の「釈尊絵伝」全7点を出展しました。

9月1日の開展式典で、るテープカットが行われ、は、浜田恵造氏（香川県知事）、ラージ・スリヴァース（駐日インド大使）が、午後にはフォーラムが開催されました。

タヴァア氏（駐日インド大使）は、山永平寺所蔵の「初転法輪（当協会常務理事）らによ



「野生司香雪とサルナートの仏伝壁画展」テープカット

示され、インドの初転法輪寺と同様の規模の空間が会場内に再現されました。その他、野生司香雪画伯の代表作約60作品が展示されました。

野生司香雪画伯の故郷である香川県にて、大本山永平寺が所有する初転法輪寺の下絵とともに「釈尊絵伝」全7点を展示できたことは、当協会にとって大変重要な意味を持ち、貴重な展覧会となりました。

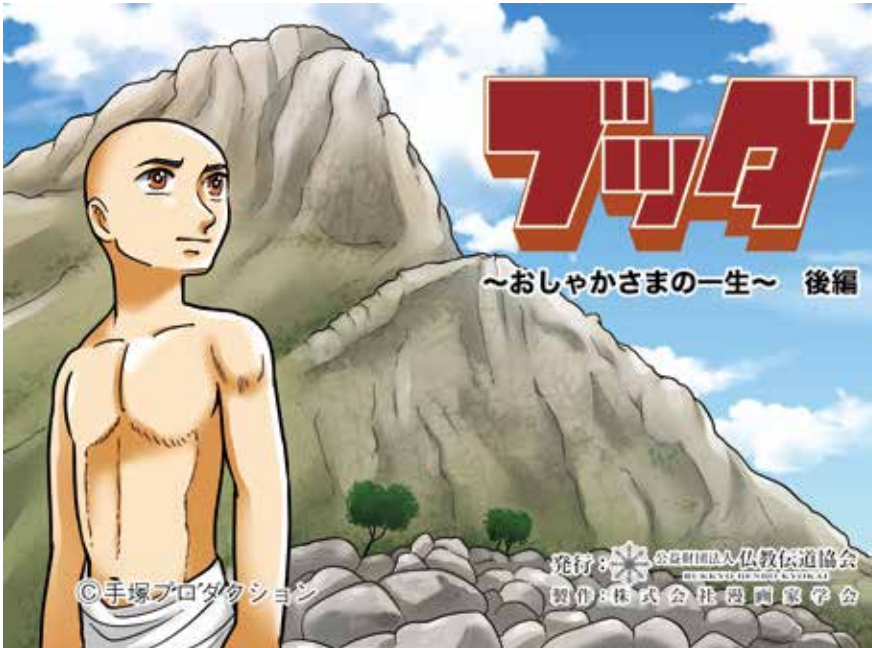


仏教伝道協会所蔵「釈尊絵伝」展示

Activity 07

紙芝居『ブツダ』
おしゃかさまの一生』販売

この紙芝居は、令和元
(2019)年に手塚プロ
ダクション監修のもと製
作した仏教伝道協会オリジ
ナルの作品(前編・後編)
で、手塚治虫氏原作の漫画
『ブツダ』に近い画風で描
かれています。当初、全国
の仏教系幼稚園・保育園
2,500箇所へ寄贈させ
ていただきましたが、購入
を望む声が多数寄せられた



『ブツダ～おしゃかさまの一生』後編 表紙

ため、令和2(2020)
年度より、限定2,000
部を、主に寺院向けに販売
することになりました。現
在たくさんのご要望をいた

だいております。
また、紙芝居を園児たち
に披露する紙芝居ショーも
行われるようになりまし
た。2020年12月、寿福
寺第一、第二幼稚園(東京
都練馬区)および光輪幼稚
園(東京都大田区)で「渋
谷画劇団」による紙芝居
ショーが上演され、プロの

紙芝居師たちによる迫力満
点なパフォーマンスを約50
人の園児たちが見つめ、大
きな拍手が送られたとの事
です。
このように、紙芝居を通
じて、子どもたちにも教え
が広まっていくことは、当
協会にとっても大きな喜び
です。

Activity 08

「仏教聖典のありがたいことば
キャンペーン2020」開催

書籍・PDF・オーディオ版など幅広い選択肢を
設け、「仏教聖典」の中の素晴らしい教えに触れてい
ただきたいという思いから、昨年に引き続き「仏教聖
典のありがたいことばキャンペーン2020」を開
催しました。これは「仏教聖典」に掲載されているあ
りがたい教えやフレーズを「Twitter(ツイッター)
でつぶやいてもらおう」という企画です。

昨年 비해応募期間が短
縮されましたが、300を
超える投稿をいただきまし
た。

方など実に様ざまな方がた
にご参加いただきました。
このキャンペーンをきつ
かけに「仏教聖典」の素晴
らしさを再発見した」とい
うツイートも数多く見られ
ました。

初日から最終日まで毎朝
「仏教聖典」の内容を投稿し
てくださった御住職、賞品
のカレーを目当てにたくさ
んの投稿をしてください

2 助成・表彰事業

Support / Commendation

■奨学金事業報告

「外国人留学生奨学金」制度のご紹介

仏教伝道協会では、「外国人留学生奨学金」および「日本人留学生奨学金」（通称・BDK奨学金）を設置し、仏教研究を志す皆さまを支援する奨学金事業を展開しています。

* * *

「外国人留学生奨学金」は、海外から来日し仏教研究をする外国籍の学者、研究者または学生に対して、

第31回 令和3（2021）年

「外国人留学生奨学金」受給者（申し込み順）

● Simona Lazzerini

（シモナ・ラッゼリーニ）氏

所属機関：早稲田大学

指導教授：山部能宜教授

研究内容：生髪鬼形鬼子母神像の研究

● Iris Laxin Zhang

（張 藍心：アイリス・ランシン・チャン）氏

所属機関：京都大学

指導教授：吉川真司教授

研究内容：「往生伝」を中心に平安時代における念誦、

言霊と文学文化の研究

第29回

令和元（2019）年

外国人留学生奨学金 受給者

- 1 仏教伝道協会の奨学金制度への応募のきっかけ
- 2 受給して最も良かったと思うこと
- 3 今後の展望

◇ Anthony Robert Scott （アンソニー・ロバート・スコット）氏

■ 国籍：カナダ

■ 所属機関：東京大学東洋文化研究所

■ 指導教授：馬場紀寿教授 藏本龍介准教授

■ 研究内容：20世紀初期ビルマのヴィパッサナー瞑想の先駆者、ムーラ・ミンゴン・ジェタバナ長老（1868～1954）による『ミリンダ問経』のパーリ語註釈である『ミリンダ王問経註釈』（Milindapañha-attihakatha）を研究

会いし、先生方の興味深い研究を知ったことで、更に日本で学びたいと思うようになりました。

2 BDK奨学生として一番大切なことは、大学内外で日本の仏教文化を身近に感じるのだと思います。

そのためには、日本語の読み書き、特に仏教の概念やサンスクリット語とパーリ語の翻訳を可能な限り学ぶことが重要です。BDK奨学金なくしては、日本語を学ぶ機会もなかったと思います。

1 初めて仏教伝道協会（以下BDK）のことを知ったのは、私がカルガリー大学の学部生であった当時、レスリー・カワムラ教授の下で勉強している時でした。

香港大学の修士課程に在籍していた時には、BDK

くさん触れました。その後、トロント大学で博士課程に入った時、BDKカナダが主催する外国人留学生奨学金制度の存在を知り、上座仏教とパーリ語仏典の研究者と会う目的で日本を訪れました。

日本語を学ぶことにより、英語圏外でどのように仏教が研究され、教えられているかを学ぶ可能性を広げてくれた



東京大学内研究室にて（馬場教授：左、Scott氏：右）

と
思
っ
て
い
ま
す。

3 東京大学で仏教学について学んだことで、日本と欧米圏では仏教研究・教授法に違いがあることを、身を以て経験しました。

今までアメリカの大学中心だった私の考え方が変わり、北米や欧州圏外での教授職への可能性が開け、キャリア展望が国際的になりました。
将来的には私自身が教授

職に就くことよって、過去にお世話になった全ての先生がたに恩返しをし、また更に先の世代に仏教学を伝えていきたいという決意を新たにしました。

※第30回令和2（2020）年奨学生については、新型コロナウイルスの感染拡大状況により当初の予定通りに来日が叶わなかったため、次号に掲載予定です。

■奨学金事業報告

「日本人留学生奨学金」制度のご紹介

「日本人留学生奨学金」は、日本から海外へ渡り国際的な視野を養い、将来の仏教学術振興に貢献しうる日本人の若手研究者を育成したいという願いから、平成24（2012）年に設立されました。

第9回目となる令和3（2021）年のBDK奨学生は、2021年2月に開催された審査委員会により、左記1名に決定されました。

第9回 令和3（2021）年

「日本人留学生奨学金」受給者

△1年留学支援▽

●小坂有弘（こさか・ありひろ）

留学先：ハンブルク大学（ドイツ）

研究内容：チャンドラキールティの二諦説解釈

第8回

令和2(2020)年

日本人留学生奨学金 受給者

- 1 仏教伝道協会の奨学金制度への応募のきっかけ
- 2 受給して最も良かったと思うこと、今後の展望
- 3 海外の生活で一番気に入っているところ
(または驚いたところ)

△短期留学支援▽

◇富永曜照(とみなが・ようしょう)◇

■ 受給期間：5ヶ月間

■ 留学先：カリフォルニア大学バークレー校
(アメリカ)

■ 指導教授：Alexander von Rospatt

■ 研究内容：Sadharmapundarikasutra (Kashgar字本) 第2章「方便品」の内容検討—ネパール系写本と比較して—

1 2019年11月末に、斎藤明先生から、2020年BDK奨学生への申し込みを勧めていただきました。

カリフォルニア大学バークレー校(以下UCバークレー)のAlexander von Rospatt先生にご相談したところ、「応募しない限り奨学金を得るチャンスはない」とアドバイスをいただき、私はBDKに応募するのに相応しくないと

思いましたが、アドバイスに背中を押され、応募することを決意しました。

2 数かずの素晴らしい経験の中で最も印象的なことは、尽きることのない努力と学問への情熱を持つクラスメート・教授たちと共に勉強できたことです。

挫折しそうな時もありましたが、乗り越えられたのは、彼らと共に勉強するこ

とができたからです。学問への真摯な姿勢を目の当たりにし、今後も真面目に情熱を持ち研究に取り組みたいと思います。

3 UCバークレーの素晴らしさは、質問と議論を通して共にテキストへの理解を深めていく授業のあり方だと思っています。AIG先生が、「授業前に準備をしているが、セミナーを通してテキスト理解はより良くなる」とおっしゃった言葉が印象的です。

学問への尽きることのない情熱、そして質問と議論を通してテキスト理解を深める姿勢を学べたことは、今後の研究ならびに人生にとって大きな収穫でした。



大学の友人・先生たちとのハイキング(富永氏：2列目左から2番目) 2019年撮影

※第8回令和2(2020)年として奨学金を受給予定だった他3名の奨学生については、新型コロナウイルスの感染拡大状況により当初の予定通りに渡航が出来なかつたため、次号に掲載予定です。



追悼 辛嶋静志先生

令和3 (2021) 年で第31回目を迎えた「外国人留学生奨学金」の歴史の中でも近年、多数の奨学生を担当・指導してくださった辛嶋静志教授(享年61歳・創価大学国際仏教学高等研究所前所長)が令和元(2019)年7月に急逝されました。

海外から来日し、仏教研究を志す方がたに対して常に真摯に向き合う丁寧な指導に加え、そのお人柄から多くの方に慕われていた辛嶋先生。それぞれが自国に戻り、日本で学んだ仏教精神・文化等を、学問を通じ、ひろく世界に伝えていく事が出来るよう、当奨学金の意義を体現されるかのような指導ぶりでも、各方面からの信頼も非常に厚い方でした。

仏教文献学を専門とし、サンクリット語、チベット語、パリ語はもとより、中期インド・アーリヤ語と中古漢語の膨大な知識を元に初期漢訳仏典を詳細に分析し、国内外の仏教学界を牽引する一人として活躍されてきました。そして、カリフォルニア大学バークレー校や

北京・中国人民大学文学院、フランス学士院など国内外の諸機関から招聘を受け、仏教研究に関する講義活動に留まらず、世界の仏教学研究者のネットワークづくりなど、当協会奨学生を含む多くの若手研究者の育成にも尽力され、本誌でも度々奨学生と共にご登場いただきました。

辛嶋先生の長年の御指導に感謝し、木村清孝(仏教伝道協会会長)より、当協会を代表し哀悼の誠を捧げます。そして最後に辛嶋先生の指導を受けられた盧鷺氏(令和元(2019)年奨学生)より、先生との思い出や感謝を綴るメッセージが寄せられましたので併せて掲載させていただきます。

辛嶋静志先生を偲んで

仏教伝道協会会長 木村清孝

第29回(2019)年度 外国人奨学生

盧鷺氏(当時・創価大学・国際仏教学高等研究所)

当協会は、多方面にわたって
仏教と仏教文化の普及に努めて
いますが、「留学生奨学金制
度」はその柱の一つです。

私が辛嶋静志先生と最後にお
会したのは、この制度に因ん
で行われた、一昨年7月の「留
学生交流会」の時でした。先生
は、指導中の中国人留学生盧鷺
さんともども、この会合に参加
してくださいました。そして、
留学生たちの研究発表会が終
り、その後に設けられた懇親会
の席で、たまたま私は先生と同
じテーブルを囲むこととなりま
した。久しぶりにお会い出来た
事もあり、談論風発、固い専門
分野の話から柔らかな世間話ま
で、1時間以上も楽しく語り
合ったのでした。

ところが、それからわずか2
週間後、先生の急逝の報を耳に
しました。愕然として、しばら
く言葉を失いました。今も、半
ば信じられない思いです。

辛嶋静志先生は、還暦を迎え
たばかりのお歳で、すでに仏教
文献学の世界的権威のお一人で

した。パーリ語、サンスクリッ
ト語、チベット語、漢語などに
精通し、とくに初期漢訳大乘仏
典の研究において、群を抜く
成果を次々に発表されました。
しかも先生は、若く有能な仏教
研究者、言語学者を育てること
に熱心でした。当協会との関係
でいえば、平成18(2006)
年以来、上記の制度に則って応
募し、難関を突破して奨学生と
なった4人の外国人留学生を1
年ないし2年にわたって指導し
てくださいました。そして奨学
生の皆さんが優れた成果を挙
げ、現に活躍中であることは、
いうまでもありません。

当協会に対してのみならず、
仏教学界、人文学界に対して果
たされた先生のご貢献に対し、
改めて深く敬意を表するととも
に、心より感謝の念を捧げま
す。

まず、辛嶋先生の研究内容を
詳しく知らない方でも、先生の
類い希な語学力に驚かれる方は
少なくありませんでした。先生
は仏教文献の研究者として、サ
ンスクリット語、パーリ語、中
国語、チベット語のみならず、
英語、フランス語、ドイツ語も
流暢に使いこなされていた

レベルと言って良いほど優れて
いましたが、ある時私は、先生
がスーツのポケットにいつも小
さな辞書あるいは文庫本を入れ
ている事に気づきました。恐ら
く語学の勉強は先生の趣味のよ
うな、ライフワークであったの
かもしれません。

(これら以外にも、ロシア語、
タイ語や韓国語も勉強されたご
経験があるそうです)。特に、
サンスクリット語と古代中国語
は、いずれも一般的には非常に
難しい言語だと言われています
が、辛嶋先生はこれらに基づ
き、各言語で記されている仏典
を照合し、今まで十分研究され
ていない多くの課題を解明され
てきました。その中では特に、
『道行般若経詞典』や『正法華
経詞典』などが仏教学研究者に
よく使われています。

辛嶋先生は常に優しく丁寧に
指導してくださいました。豊富
な知識だけでなく、優秀な研究
者としての資質(勤勉さ、真面
目さ、粘り強さ、熱意など)を
教えて下さったのも先生でし
た。先生が「若手研究者は冬の
桜のようだ。見た目には他の桜
のつぼみと区別がつかないけれ
ど、寒く厳しい冬の間に十分に
養分を貯め込み、いつか満開の
日が迎えられる。」と仰いまし
た。

辛嶋先生と初めてお目にか
かったのは、先生の著書を拝読
した数年後の事で、私も先生の
語学力に驚いた一人でした。特
に先生の中国語は母語者と同じ

今、辛嶋先生は「お浄土」に
至られたのだと思っています。
先生と一緒に研究生を送る事
が出来た日本での日々は一生忘
れられない貴重な経験となりま
した。本当に有り難うございま
した。

「第54回 仏教伝道文化賞」贈呈式 開催
於 仏教伝道センタービル 2020年10月8日



仏教伝道文化賞受賞関係者（前列左：前田専學氏）



前田専學氏によるスピーチ

令和2（2020）年10月8日、仏教伝道センタービル8階にて、第54回仏教伝道文化賞贈呈式ならびに祝賀披露宴を執り行いました。

仏教伝道文化賞受賞者の前田専學氏は、インド哲学の世界的権威である中村元氏の後継者として東京大学で教鞭を執り、公益財団法人中村元東方研究所、日本印度学仏教学会理事長として学会の発展、人材育成に大きく寄与されました。

挨拶に立った前田氏は、



石上善應師

東京大学で中村元博士の「印度思想史概説」の講義の斬新さに魅了されてインド哲学を専攻すると決断したことや、当協会が取り組む英訳大蔵經の編集委員長を引き継いだ経緯などをお話になりました。最後には、「私が親孝行できる道はただ一つ。90歳まで生きることです」とユーモアを交え会場の笑いを誘いました。

た。

祝辞では、石上善應氏（大正大学名誉教授）が『梵和辞典』を編纂した思い出を交えて受賞を祝福され、乾杯の発声では本多弘之氏（親鸞仏教センター所長）が、鈴木大拙英訳の際、『教行信証』復刊事業のことを深く感謝し、祝意を表しました。

仏教伝道協会は、石上善應先生に衷心より感謝と哀悼の意を表します。

第50回仏教伝道文化賞（2016年）を受賞された石上善應氏が、2020年11月29日にご往生されました。

浄土經典研究の第一人者で、当初より当協会発行の「仏教聖典」の編集や「英訳大蔵經」の事業にお力添えをいただき、また長年にわたって当協会の評議員を務めていただきました。



「仏教聖典編集委員会初期メンバー」（前列中央…石上師）1960年代当時

令和2(2020)年度「助成金事業」報告

仏教伝道協会では、当協会の公益事業目的に賛同し、国内外にて積極的な活動を行っている個人または団体を支援するため、活動助成金を交付しています。

令和2(2020)度は、30件の団体または個人から申請があり、公正な審査の上、20の個人または団体への助成金交付が決定しました。

当協会の「助成金制度」についての詳細は、当協会公式サイトをご確認ください。<https://www.bdk.or.jp>

■ A. 団体支援助成

団体名	申請事業内容
日本印度学仏教学会	日本印度学仏教学会における、情報化対応を介した国際的学術交流及び文化貢献の促進事業
鎌倉てらこや	鎌倉てらこや大学・寺社・行政・市民ボランティアの協働による地域コミュニティ再興事業
フリースタイルな僧侶たち	フリースタイルな僧侶たち フリーペーパーの発行、WEB、イベント開催事業

■ B. 事業支援助成：B-1 仏教精神・文化普及活動及び人道支援活動

団体名	申請事業内容
公益財団法人全国教誨師連盟	教誨師研修事業（※申請事業中止のため交付せず）
公益社団法人在家仏教協会	講演会開催事業
全日本仏教青年会	国際青年仏教徒交換プログラム（※申請事業中止のため交付せず）
一般社団法人Project Gamon	仏教フリーマガジン「わけんせ」発行事業
公益社団法人シャンティ国際ボランティア会	ミャンマーにおける仏教むかしばなし絵本化プロジェクト
H1法話グランプリ実行委員会	H1法話グランプリ～2020 in 奈良～（※申請事業中止のため交付せず）
東北大学大学院文学研究科実践宗教学寄附講座	臨床宗教師育成事業（※申請事業中止のため交付せず）
世界仏教徒青年連盟	ティク・ナット・ハン／プラムヴィレッジ僧侶団との交流、マインドフルネス・リトリート国際仏教研修会（※申請事業中止のため交付せず）
島根県仏教会	第45回 全日本仏教徒会議 島根大会（※申請事業中止のため交付せず）
公益社団法人大谷保育協会	保育心理士資格取得講座

■ B. 事業支援助成：B-2 仏教学術振興活動

団体名	申請事業内容
公益財団法人中村元東方研究所	2020年度 研究調査事業
龍谷大学 龍谷ミュージアム	2020年度 春季特別展「ブツダのお弟子さん 一教えをつなぐ物語」 （※申請事業中止のため交付せず）
公益財団法人日独文化研究所	日独の4つの研究所が共催するワークショップ「仏教とキリスト教の〈自然〉概念」 （※申請事業中止のため交付せず）
エト ヴェシュ・ローランド (ELTE) 大学仏教研究センター	東アジアにおける普賢菩薩の総合研究—文献学や図像学の調査に基づいて

■ B. 事業支援助成：B-3 仏教文化財保護活動

団体名	申請事業内容
浄土真宗本願寺派本願寺ハワイ別院	次世紀への絆 (i am a link)

■ C. 沼田仏教講座運営維持・新規開設支援助成

団体名	申請事業内容
University of Vienna	沼田仏教講座活動助成事業
University of Chicago Divinity School	沼田仏教講座活動助成事業

公式LINE (利用画面)



仏教伝道協会では、当協会の活動を幅広い世代の方がたに知っていただくため、令和2(2020)年6月に公式LINEアカウントを開設しました。

現在、定例講座やBDK シンポジウムの開催案内をはじめ、出版物の紹介などを配信しており、左記の通り「友だち追加」していただくことで、当協会に関する

様ざまな情報をご覧いただけます。

追加方法は以下の3通りです。ぜひご都合の良い方法で、ご登録ください。



01 Activity 仏教伝道協会 公式LINEアカウント開設

3 啓蒙活動・支援事業・仏教講座の開催

Enlightenment / Support / Buddhism course

「友だち追加」の方法



アカウント名：公益財団法人仏教伝道協会

LINE ID : @384zhjgw



- 1 ホームの「友だち追加」画面から、「ID検索」ボタンを選択する。
「@384zhjgw」と入力・検索し、追加する。
- 2 各種Webブラウザから <https://lin.ee/wlOD8qj> へアクセスし、追加する。
- 3 QRコード読み取り機能がついているスマートフォンをお使いの方は、ホームの「QRコード」ボタンを選択し、読み取り画面から、こちらのQRコードを読み取り追加する。



02 Activity

「インスタ法話—こころが整う ほとけさまのお話—」ライブ配信

令和2（2020）年7月30日に、Instagram（インスタグラム…インスタは略称）のライブ配信機能を使用し、当協会の公式インスタグラムにて「インスタ法話—こころが整う ほとけさまのお話—」を配信しました。

講師に松島龍戒師（高野山真言宗功德院住職）をお迎えし、著書『おやすみ前の3分音読で嫌なことがスーッと消えるほとけさまの話』から選りすぐった言葉をテーマに沿って解説していただきました。

SNSを通じて配信したことにより、日本国内だけでなくアメリカやオーストラリアといった海外からも気軽に視聴いただく事ができました。

視聴者からは「待っていました」「わかりやすく引き込まれました」「（教義の解説時に）現代風の例えが分かりやすい！」など、たくさんコメントをいただきました。



解説する松島龍戒師

LIVE配信 インスタ法話
—こころが整う ほとけさまのお話—



7月30日(木) 朝10:00～(各回10分前後)

ご講師：松島龍戒 先生

インスタ法話（インスタグラム投稿画像）

各回テーマ：視聴者人数

第1回	「他人と自分を比べてばかりいませんか」	30名
第2回	「まわりに振り回されてばかりいませんか」	33名
第3回	「日頃の小さな気持ちをおろそかにしていませんか」	27名
第4回	「自分だけが不幸せだと思いませんか」	25名



Activity 03

オンライン法話会
「週刊法話ステーション」放送開始!

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響で、寺院等での様々な行事が中止や延期を余儀なくされ、仏教に触れる機会が減少している今。このような時にこそ、多くの方に仏教伝道の原点の一つである「法話」をお届けするため、オンライン会議システム・Zoom（ズーム）を使用したオンライン法話会「週刊法話ステーション」を令和3（2021）年1月より開始しました。



2月10日（藤本大器師）

「週刊法話ステーション」は、毎月のテーマに沿った法話を毎週水曜日にZoomで生配信するもので、放送時間は夕方6時から30分間です。一日の終わりにほっと一息つけるようなひとときを提供しています。本放送はZoomのウェビナー（オンライン上でのセミナー）機能を使用しており、視聴者の顔は画面上に

写らないため、他の方の目を気にすることなく、じっくり視聴することができま す。当協会の公式YouTube（ユーチューブ）ページで過去に放送した法話をお楽しみいただけますので、ぜひお試しください。

尚、好評につき令和3（2021）年度も引き続き「週刊法話ステーション」を配信予定です。今後の配信スケジュール等につきましては当協会公式サイトをご確認ください。
<https://www.bdk.or.jp>

2020年度開催状況（敬称略）	
1月テーマ「健康」	
1月20日	青江覚峰 （浄土真宗東本願寺派緑泉寺住職）
1月27日	塚田博教 （浄土真宗本願寺派教学寺住職）
2月テーマ「情報」	
2月3日	小池陽人 （真言宗須磨寺派須磨寺寺務長）
2月10日	藤本大器 （臨済宗南禅寺派宝泉寺住職）
2月17日	小林恵俊 （天台宗正明寺法嗣）
2月24日	西域哲英 （浄土真宗本願寺派西方寺住職）
3月テーマ「変化」	
3月3日	松原大致 （浄土真宗本願寺派光明寺住職）
3月10日	牧野仁（釋悠水） （浄土真宗本願寺派報恩寺住職）
3月17日	乙部大信 （真宗大谷派恩楽寺若院）
3月24日	平野晃嗣（大鐵） （曹洞宗観音寺副住職）
3月31日	村上祥瑞 （浄土宗建中寺副住職）



04 Activity

築地本願寺パイプオルガン上納50周年記念

「第20回仏教音楽祭Buddhaspel(ブッダスペル)

「パイプオルガンの夕べ」開催

於 築地本願寺 2020年11月18日



築地本願寺合唱団楽友会による「元素わたし」合唱

仏教伝道協会より築地本願寺（東京都中央区）にパイプオルガンが寄贈され、上納式が挙行されてから50周年を迎えました。

それを記念し、令和2（2020）年11月18日、「第20回仏教音楽祭Buddhaspel」パイプオルガンの夕べ」を築地本願寺本堂にて開催しました。

最初に、大谷光淳師（浄土真宗本願寺派門主）よりいただいた祝辞が読み上げられた後、パイプオルガンをういた音楽法要（導師・築地本願寺安永雄玄宗務長）で、第一部が幕を開けました。その後、第二部として、オルガニストの小島弥寧子氏によるソロ演奏、アンサンブル東風との共演が披露され、パイプオルガンの荘厳で華麗な音色に会場は酔いしれました。

安藤常光氏の方がたに合唱していただきました。アンサンブルとパイプオルガンによる伴奏が優しい歌声と重なって心地よいハーモニーを生み、穏やかな雰囲気の中に幕を閉じました。

当日はコロナ禍ということもあり、やむを得ず定員を250名に制限しましたが、半世紀を越える歴史で醸熟されたパイプオルガンの魅力を存分に味わっていただける貴重な機会となりました。



オルガニスト小島弥寧子氏

第三部では、当協会が故・松下功氏（元東京藝術大学副学長）に生前依頼し制作していただいた平和ソング「元素わたし」を築地本願寺合唱団楽友会（指揮・

Activity 05

「仏教ヨガプラス

〜はじめての瞑想〜」開催

於 仏教伝道センタービル

2020年12月〜2021年3月

仏教伝道協会主催の人気講座のひとつである「仏教ヨガ講座」の新たな形として、瞑想に着目した特別講座を開催しました。



仏教ヨガプラス はじめての瞑想：オンラインでも開催（画面の様子）

令和2（2020）年12月、令和3（2021）年2月、3月の3回にわたり「仏教ヨガプラス」はじめての瞑想〜を開催しました。（当初予定していた2021年1月分は緊急事態宣言発令により中止）

講師には、ヨガ指導者で高野山真言宗僧侶でもあるMomoko（モモコ・小西涼瑜）先生をお迎えしました。ヨガ60分、法話10分、瞑想30分のプログラムを行い、お釈迦さまが説き実践したといわれるヴィパッサナー瞑想と密教の瞑想を織り交ぜて指導していただきました。12月と3月は会場とオンラインの同時開催、2月はオンラインのみ、と緊急事態宣言の発令状況により開催方法の変更を余儀なくされる中で、会場・オンライン共に多くの方がご参加下さいました。コロナ禍での生活で心が落ち着かない状況が続く、頭も心も固くなり、体が縮みこみがちになる今、参加者の満足度も非常に高く、2021年度は、これまで定例で開催してきた「仏教ヨガ講座」（定例の「仏教ヨガ講座」についてはP.22に別途掲載あり）に瞑想を組み込んだ新たな「仏教ヨガ講座」を開始します。尚、新講座についての詳細は、P.27をご覧ください。

Activity 06

令和元（2019）年度

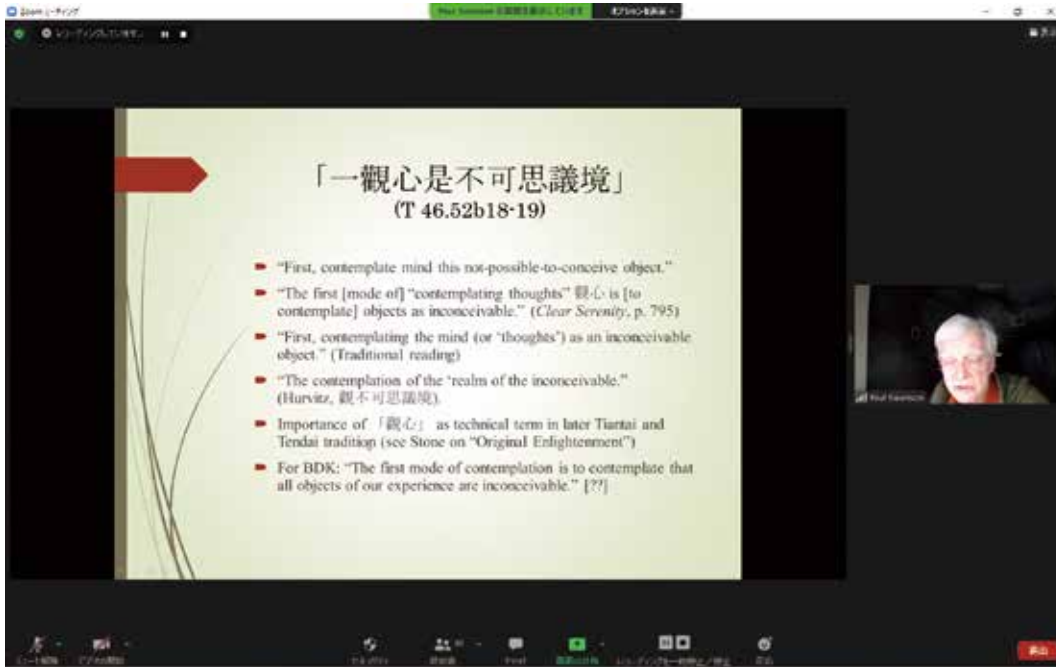
「沼田智秀仏教書籍優秀賞」

受賞記念講演

於 龍谷大学 2021年2月12日

「沼田智秀仏教書籍優秀賞（Toshhide Numata Book Award in Buddhism）」は西洋における仏教学研究のさらなる発展を目的とし、平成21（2009）年カリフォルニア大学バークレー校の仏教学センターに設立されました。毎年、米国で審査委員会が開催される公正な審議の上、英語で執筆された仏教学術書籍の中から優秀な書籍が選定されます。

2019年度の沼田智秀
 秀仏教書籍優秀賞 (Toshi Award) は、Paul Swanson 氏 (南山大学名誉教授) が出版された『Clear Serenity, Quiet Insight: T'ien-t'ai Chih-i's Mo-ho chih-kuan (3 vols., Nanzan Library of Asian Religion and Culture, University of Hawai'i Press



オンライン講義の様子

2018)』が2019年11月に開催された審査委員会で選定されました。

令和3(2021)年2月12日に受賞者をお招きし、龍谷大学仏教文化研究センターとの共催のもと受賞者記念講演会を開催しました。講演会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインにて開催さ

れました。

Swanson氏は『摩訶止観』の翻訳研究を40年以上行っており仏教典籍の英訳をライフワークとされてきました。講演会では「翻訳とは何か? 天台仏教関連文献英訳の40年と今後の課題」と題し、翻訳における三つの側面(言葉の意味・文脈・読者層)についての説明や、実際の翻訳プロセスに沿って

英訳における注意点などを解説いただきました。最後にSwanson氏より『法華玄義』の翻訳という今後の抱負が述べられ講演会は終了しました。

※沼田智秀仏教書籍優秀賞の概要・過去の受賞者情報は当協会公式サイトにてご覧いただけます。
<https://www.bdk.or.jp>

Research Center for World Buddhist Cultures, Ryukoku University
 龍谷大学世界仏教文化研究センター

第6回沼田智秀仏教書籍優秀賞受賞記念講演会
 翻訳とは何か?
 天台仏教関連文献英訳の40年と今後の課題
 ホール スワンソン
 講師 Paul Swanson氏
 (南山大学 名誉教授)

受賞作品
 Clear Serenity, Quiet Insight: T'ien-t'ai Chih-i's Mo-ho chih-kuan (3 vols., Nanzan Library of Asian Religion and Culture, Hawai'i University Press, 2018)

Paul Swanson氏

コメンテーター 長谷川 岳史 (龍谷大学 経営学部 教授)
 司 会 高 満也 (龍谷大学 国際学部 教授)
 開催日時 2021年2月12日(金) 17:00~18:30
 開催方法 Zoomによるオンライン開催

※参加希望の方はセンターIP(<https://rcwbc.ryukoku.ac.jp>)またはQRコードからご登録いただくか、下記メールアドレスまでご連絡ください。rcwbc.ir@ gmail.com

共 催 龍谷大学世界仏教文化研究センター(RCWBC) 公益財団法人仏教伝道協会
 問合せ先 龍谷大学世界仏教文化研究センター(RCWBC) 共同研究室 rcwbc.ir@ gmail.com

You, Unlimited 龍谷大学 公益財団法人 仏教伝道協会

講演会ポスター

Activity 07

仏教をより身近に

「仏教伝道掲示板」2020年に好評だった文言ベスト10

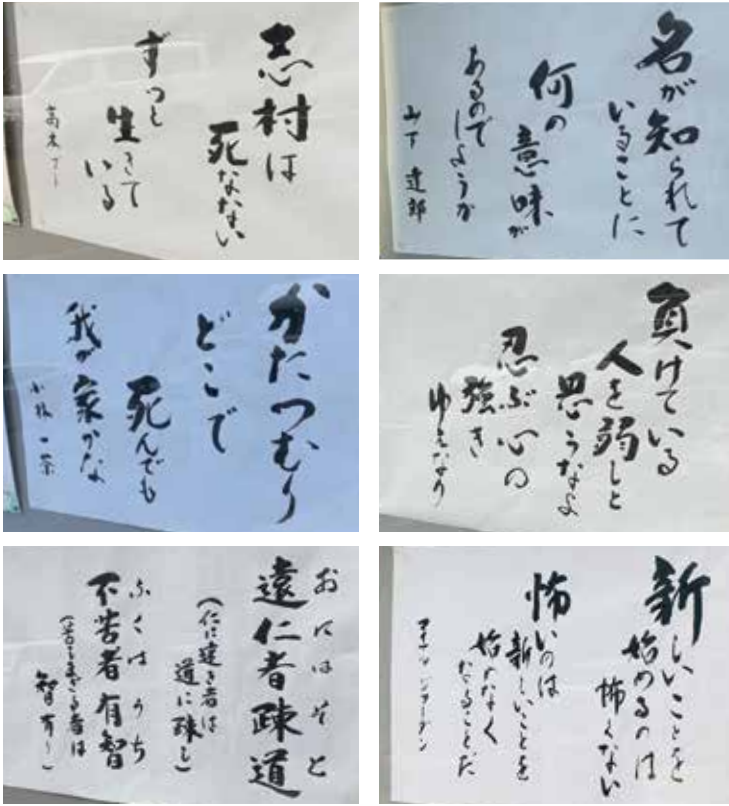
令和元(2019)年7月から仏教伝道センタービル入口に「伝道標語」を掲示しています。週ごとに文言を替え、經典の言葉や著名人の名言まで、仏教的と感じられる言葉を掲示し、仏教伝道協会の公式SNS (Facebook、Instagram) にも写真付きで投稿しています。

ここでは、令和2(2020)年度に「いいね」の数が多かった文言をランキング形式で紹介します。

と願っています。今後も当協会のSNSに文言を掲載してまいりますので、是非過去の投稿も併せてご覧ください。

「仏教ガチャガチャ」の紹介

解説リーフレットには、仏像が所蔵されている寺院を掲載し、仏像フィギュアとあわせて大変好評をいただいています。現在、4台設置している内の1台は月替りで中身を替えています。同時にガチャガチャのマシン本体脇にあるホワイトボードのメッセージも毎月書き換えていますので、当協会にお越しの際は、ぜひホワイトボードもご覧ください。



1位	志村は死なない ずっと生きている 高木ブー	274 いいね
2位	楽を求めたら苦しみしか待っていない 野村克也	247 いいね
3位	名が知られていることに 何の意味があるでしょうか 山下達郎	180 いいね
4位	今を生きずにいつを生きる ここを生きずにどこを生きる 東井義雄	131 いいね
5位	かたつむり どこで死んでも我が家かな 小林一茶	121 いいね
6位	偏見は無知である マイケル・ジャクソン	98 いいね
7位	負けている人を弱しとおもうなよ 忍ぶ心の強きゆえなり	97 いいね
8位	雨はウンコの上にもおちなければなりません イヤだといってもダメなのです だれもかわってくれないのです 野村康次郎	94 いいね
9位	遠仁者疎道(おにはそと)(仁に遠きは道に疎し) 不苦者有智(ふくわはうち)(苦しまざる者は智有り)	90 いいね
10位	私が変われば世界が変わる 青山俊董	90 いいね

08 Activity

各種定例講座のご案内

仏教伝道協会では事業の目的のひとつに「仏教精神とその文化興隆の為の啓蒙活動」を掲げており、年間を通じて各種講座を主催しています。

▼仏教聖典を

経営に活かす会

仏教精神を学び、事業経営に活かし、また人生の道標の一助となるように、宗派にとらわれず、仏教が持つ東洋の叡智と慈悲の精神に一人でも多くの方に触れていただくための月例講座です。令和2（2020）



経営に活かす会
(講師：一乗眞師)

年度は一乗眞師（大谷大学教授）、千葉公慈師（東北福祉大学学長）の両氏を招き、月1回（第4金曜日18時〜）開催しました。

▼仏教聖典を

生活に活かす会

宗派にとらわれず、仏教精神を日常生活に活かすことを目的に「仏教聖典」をテ



生活に活かす会
(講師：塩入亮葉師)

招き、月1回（第4火曜日13時半〜）開催しました。

2020年度はコロナ禍のため、当講座も中止や延期を余儀なくされましたが、令和3（2021）年度からは、新たにライブ配信による「オンライン聴講」が可能になりましたので、ぜひお好きな場所からご参加ください。詳細については当協会公式サイトをご確認ください。



経営に活かす会（講師：千葉公慈師）

<https://www.bdk.or.jp>

09 Activity

仏教を初歩英語で学ぶ会 年間開催報告

仏教伝道協会では2年間のプログラムで、「仏教を初歩英語で学ぶ会」(2級コース・3級コース)を実施しています。令和2（2020）年度も東京での開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、やむを得ず開催を中止しました。

京都開催

「英語で学ぶ日本仏教の基本」

— Learning Basics of the Japanese Buddhism in English —

令和元（2019）年に of the Japanese Buddhism 開始した「英語で学ぶ日本仏教の基本— Learning Basics of the Japanese Buddhism in English—」は、京都での開催となったっており、感染防止

対策を徹底した上で、予定通り2020年9月に開講することができました。

好評につき今年度も開催となった当講座では、昨年度に引き続きLisa Grumbach氏（龍谷大学非常勤講師）を講師としてお招きしました。前回は全4回の講座でしたが今回は全6回になり、さらに充実した内容の講座となりました。

日本仏教の概略から始まり、日本庭園や寺院建築などの仏教文化まで幅広く網羅。

実際に観光ガイドをされている参加者から「実用的で勉強になった」等ご好評をいただきました。

しかしながら12月以降の開催に関しては、緊急事態宣言の再発令に伴い、会場での開催を中止。自宅に居ながら受

講が出来るよう、完全オンライン講座へと開催形式の変更を行いました。

講座の詳細・今後の開催につきましても当協会公式サイトを[ご確認ください。](https://www.bdk.or.jp)
<https://www.bdk.or.jp>



会場での開催風景 (講師: Lisa Grumbach氏)

Activity 10 「仏教ヨガ講座」年間開催報告

於 仏教伝道センタービル

令和2 (2020) 年4月から8月の間はコロナウイルス感染防止の観点から開催を中止し、9月から感染防止対策を徹底した上で再開しました。

長引く自粛生活の中で抱えるストレスを、仏教のお話とヨガで和らげていただく機会を提供するため、5ヶ月間の中止を経て講座を再開しました。再開にあたっては、講師のガツソ有香先生(浄土宗僧侶/国際ヨガ資格保持インストラクター)からいただいたアドバイスを参考にし、定員数

削減の他、様々な対策を行いました。9月の開催時には多くの方から「再開されるのを心待ちしていました!」という声をいただきました。

そして、コロナ禍でも人との接触を気にすることなくオンラインでも受講したいという多くのご要望をいただき、10月から当協会



オンライン同時開催 (講師: ガツソ有香師)



オンライン同時開催 (講師: 佐藤ゴウ氏)

初めての試みとなるオンラインでの配信と会場での同時開催を開始しました。感染状況が日々変化する中、より多くの方に満足していただける講座にするため、現在も試行錯誤を続けています。

また、講座開始当初から講師を務めていただいたガツソ有香先生は2020年12月で退任され、1月から3月までは、佐藤ゴウ先生 (radhika yoga代表/HTA認定ヨガインストラクター講師) が担当してくださりました。令和3 (2021) 年度は、「仏教ヨガプラス はじめての瞑想」(P. 18に別途掲載あり)の講師をお務めいただいたMomo先生(高野山真言宗僧侶/アシユタンガヨガ指導者)に「仏教ヨガ講座」を引き継いでいただくことになりました。(新「仏教ヨガ講座」についてはP. 27に別途掲載あり)

令和2(2020)年度 BDKシンポジウム開催

Symposium

各講演概要

第17回

テーマ：「たった一度の人生をどう生きるか」 於 AP名古屋 2020年10月28日

平成16(2004)年に「仏教伝道功労賞」を受賞した青山俊董師(愛知専門尼僧堂 堂長)をお迎えし、「たった一度の人生をどう生きるか」と題して青山老師ご自身のあゆみと禅の教えについての講義を行っていただきました。

当初、令和元(2019)年3月に開催を予定していましたが、青山老師の体調不良により令和2(2020)年4月に延期。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の発令を受け、再び延期を余儀なくされてきました。感染予防対策を徹底した上で遂に開催することができた当日には、青山老師を慕う多くの方がたが駆けつけ、約70名の方にご参加いただきました。

青山老師は「ゴールを目指すことも大切だが、その道程を楽しむことが出来れば、人生はより楽しくなる」と、ご自身の経験を交えてお話になりました。

今回は、初めての名古屋での開催となりましたが、コロナ禍においても実りある講演会が出来たことは当協会にとっても新たな一歩となりました。



講義風景 (講師：青山俊董師)

第22回

テーマ：「新たな釈尊伝」 於 仏教伝道センタービル 2020年9月12日

森章司氏(東洋大学名誉教授)をお迎えし、第22回BDKシンポジウム「新たな釈尊伝」を開催しました。

森氏がグループリーダーを務める中央学術研究所のグループ研究「原始仏教聖典資料による釈尊伝の研究」は、28年間にわたり釈尊の生涯と釈尊教団の形成史を研究し、その全貌を明らかにしました。今回は、その研究成果を踏まえて、釈尊の生涯における重要な出来事と教団形成史を解説いただき、釈尊の人物像および仏教の始まりについてお話いただきました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、定員を60名に抑えるなどの対策を徹底した上で開催となりましたが、参加者からは、「釈尊を身近に感じられた」「教団としての仏教の原点を知ることができた」など様々な感想をいただきました。



講演風景 (講師：森章司氏)

第23回

テーマ：「仏教で人は幸せになれるのか」

於 仏教伝道センタービル 2020年12月10日

コロナ禍で人生は思い通りにならないと思い知らされた令和2(2020)年。本当につらいときに仏教は救いになるのか、改めて問うシンポジウムを開催しました。

新型コロナウイルスの感染者数が増加する中、定員を通常の半数に抑え、感染症対策を万全に行った上で、第23回BDKシンポジウム「仏教で人は幸せになれるのか」を開催。講師には南直哉師(福井県霊泉寺住職、青森県恐山菩提寺院代)をお迎えしました。

「仏教でしあわせになれるわけない」の一言からスタートした本講演は、「よく生きる」をキーワードに、幸せという曖昧な概念をどのように解釈し、仏教・宗教と向き合い、どのように人生の折り合いをつけていくのかをお話いただきました。ユーモアを交えながらのお話会場は何度も笑いに包まれましたが、講演の後半には、師が発する言葉の一つひとつに、参加者はじっと耳を傾け、自身の思いと向き合っている様子でした。



講演の様子(講師：南直哉師)



講師控室にて(左から細川晋輔師、南直哉師、藤田一照師)

第24回

テーマ：「仏教と緩和ケア

—穏やかな最期を支えるために—

於 仏教伝道センタービル 2021年3月13日

まもなく迎える「多死社会」によって急増すると予測される在宅看取り。看取る人、看取られる人が求めていることは何か。そして仏教者が果たす役割について考えるシンポジウムを開催しました。

第24回BDKシンポジウム「仏教と緩和ケア—穏やかな最期を支えるために—」は、首都圏での緊急事態宣言が再延長される中、会場の定員を最小限に抑え、オンラインと会場での同時開催を実施しました。

講師には玉置妙憂師(看護師・高野山真言宗僧侶)をお迎えし、超高齢化社会の中であって尚も死をタブー視する現代社会と現代医療、そして世界的に重要視されるようになってきたスピリチュアルケアについてお話いただきました。台湾の医療施設で行われているスピリチュアルケアに僧侶が深く関わっていることを例に上げ、日本社会も学ぶ点があると指摘されました。

オンラインで同時開催することにより様々な場所からのご参加をいただき、今後もオンライン参加を希望される方は増えるものと予想されます。また、医療関係者の方の参加も多くみられ、今回の開催が医療と仏教がつながるきっかけになることを期待します。



講演風景(講師：玉置妙憂師)

※過去に開催された「BDKシンポジウム」については(一部を除く)、当協会公式サイトにてご視聴いただけます。また今後の開催予定などについても随時掲載予定です。ぜひご覧ください。<https://www.bdk.or.jp>

令和2(2020)年度 中止・延期講座情報

2020年度は、下記講座について中止・延期等の対応をさせていただきました。現状、2021年度に開催予定の講座につきましても今後の状況により変更となる場合がございます。最新情報については公式サイトをご確認ください。

<https://www.bdk.or.jp>

(2021年4月現在)

開催内容	当初の開催日	開催予定日	開催形式
第50回実践布教研究会 会場：天台宗総本山 比叡山延暦寺	2020年6月3日～5日	2022年5月頃開催予定	現地にて開催予定
BDKシンポジウム（札幌編） ～文化賞受賞者による講演会	2020年7月20日	2021年10月20日	対面とオンラインで同時開催予定
特別坐禅会 会場：曹洞宗大本山總持寺	2020年9月1日	2021年秋頃開催予定	検討中（今後の状況により中止・延期の可能性あり）
仏教聖典を経営に活かす会・ 生活に活かす会 秋季合同研修会	2020年11月10日	2021年11月9日	現地にて開催予定
「体感する仏教」～目黒編～	2020年11月29日	2021年11月1日	現地にて開催予定
コーラスボランティアGASSHO	2021年3月25日～26日	2023年3月1日	対面にて開催予定
仏教を初歩英語で学ぶ会 3級コース			
第1回	2020年4月13日	2021年5月10日	オンラインにて開講
第2回	2020年5月11日	2021年6月7日	オンラインにて開講
第3回	2020年6月8日	2021年6月28日	オンラインにて開講
第4回	2020年6月29日	2021年7月12日	オンラインにて開講
第5回	2020年7月20日	2021年7月26日	オンラインにて開講
第6回	2020年10月12日	2021年10月4日	オンラインにて開講
第7回	2020年11月16日	2021年11月8日	オンラインにて開講
第8回	2020年12月14日	2021年12月13日	オンラインにて開講
第9回	2021年1月18日	2022年1月17日	オンラインにて開講
修了試験	2021年2月13日	2022年2月12日	オンラインにて開講
第10回（修了式）	2021年2月22日	2022年2月21日	オンラインにて開講
仏教を初歩英語で学ぶ会 2級コース			
第1回	2020年4月22日	2021年5月26日	オンラインにて開講
第2回	2020年5月20日	2021年6月23日	オンラインにて開講
第3回	2020年6月10日	2021年7月14日	オンラインにて開講
第4回	2020年7月1日	2021年7月28日	オンラインにて開講
第5回	2020年7月22日	2021年9月29日	オンラインにて開講
第6回	2020年10月28日	2021年10月27日	オンラインにて開講
第7回	2020年11月25日	2021年11月24日	オンラインにて開講
第8回	2020年12月23日	2021年12月22日	オンラインにて開講
第9回	2021年1月27日	2022年1月26日	オンラインにて開講
修了試験	2021年2月20日	2022年2月19日	オンラインにて開講
第10回（修了式）	2021年2月24日	2022年3月2日	オンラインにて開講

開催内容	当初の開催日	開催予定日	開催形式
連続仏教講座 世界の仏教を学ぶ PART 2 会場：仏教伝道センタービル			
タイ	2020年 4月23日	2021年 4月22日	対面とオンラインで同時開催
ラオス	2020年 5月28日	2021年 5月27日	対面とオンラインで同時開催
カンボジア	2020年 6月23日	2021年 6月17日	対面とオンラインで同時開催
インドネシア	2020年 7月30日	2021年 7月29日	対面とオンラインで同時開催
ベトナム	2020年 8月27日	2021年 8月26日	対面とオンラインで同時開催
ミャンマー	2020年 9月24日	2021年 9月16日	対面とオンラインで同時開催
マレーシア	2020年10月29日	2021年10月28日	対面とオンラインで同時開催
仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」 会場：仏教伝道センタービル			
天台宗・最澄	2020年 4月28日	2021年 4月27日	対面とオンラインで同時開催
真言宗・空海	2020年 5月26日	2021年 5月25日	対面とオンラインで同時開催
浄土宗・法然	2020年 6月30日	2021年 6月29日	対面とオンラインで同時開催
浄土真宗・親鸞	2020年 7月28日	2021年 7月27日	対面とオンラインで同時開催
日蓮宗・日蓮	2020年 9月29日	2021年 9月28日	対面とオンラインで同時開催
臨済宗・栄西	2020年10月27日	2021年10月26日	対面とオンラインで同時開催
曹洞宗・道元	2020年11月24日	2021年11月30日	対面とオンラインで同時開催
仏教聖典を経営に活かす会・生活に活かす会 会場：仏教伝道センタービル			
仏教聖典を経営に活かす会	2020年 4月24日	2020年 9月25日	対面にて開催済
仏教聖典を経営に活かす会	2020年 5月・6月・7月	中止	
仏教聖典を経営に活かす会	2021年 2月26日	2021年 3月12日	対面にて開催済
仏教聖典を生活に活かす会	2020年 4月28日	2020年 9月15日	対面にて開催済
仏教聖典を生活に活かす会	2020年 5月・6月・7月	中止	
仏教聖典を生活に活かす会	2021年 2月 9日	2021年 3月 9日	対面にて開催済

ちょっとひと休み

現代人のための 仏教ヨガ+瞑想のすすめ

コロナ禍で自由な外出がままならない日々が続く、ストレスが溜まりやすい状況の中、心と体のバランスを保つ事が難しく感じる皆さまも多いのではないのでしょうか。そんな時にはちょっとひと休み。今回は新たに「瞑想」を取り入れ、更に充実した内容に生まれ変わった当協会主催の人気講座のひとつ「仏教ヨガ講座」のご紹介です。講師を務めていただくのは、特別講座「仏教ヨガ+Plus」もご担当いただいたMomoこと、小西涼瑜師。新たな1年の始まりに、自宅で気軽に挑戦できる瞑想法の紹介も併せて、お話を伺いました（仏教ヨガ+Plusの詳細はP.18に掲載あり）。

まずは「仏教ヨガ+Plus」を担当されてみていかがでしたか。

緊急事態宣言の発令により、講座がキャンセルになったり、オンラインのみになったりした回もありましたが、仏教伝道協会の皆さんと、今まで会場やオンラインで講座へ参加してくださった皆さんに心からの感謝を申し上げます。

参加者の方が真摯にヨガや瞑想に取り組んでくださるのが印象的でした。年齢層も幅広く、性別を問わず数多くご参加くださり、和やかな雰囲気の中で講座を行うことができました。

ヨガと瞑想を組み合わせる講座は当協会では初めての試みとなりますが、意気込みを教えてください。

私は、これまで15年以上ヨガを実践し、10年以上ヨガ講師として指導を続けてきました。一方、仏教の瞑想方法であるヴィパッサナー瞑想は10年以上実践を続けていますが、高野山で正式に修行を終えて僧侶になったのは令和元（2019）年からです。僧侶としては、まだまだ新人です。



高野山にて伝法灌頂の儀式を受け正式な僧侶として阿闍梨の位をいただく時に、それまで修行の面倒をみてくださった先生が「これからは仏教の教えを伝えていくという役目を授かったんだよ」と言ってくくださったのが後押しになり、東京に戻った後も自分の周りの方がたに仏教の智慧を伝えられる場所が欲しいと思っていた時に、ヨガの師匠であるケン・ハラクマ先生を通して仏教伝道協会の講座のお話をいただきました。もちろん二つ返事でお引き受けさせていただきました！

折角なので、ひとつの講座でヨガと仏教の良いところを両方感じていただきたいと思っています。例えば、普段からヨガに取り組まれている方には仏教の瞑想や哲学を、仏教に関する事を学んでいる方にはヨガの智慧を吸収していただければ嬉しい限りです。ヨガが初めての方も、瞑想が初めての方も、ぜひ気軽に参加ください。

ヨガも仏教も長い時間を経て大切に人から人へと受け継がれていきます。その文化が保たれる場所が変わっても色褪せることのない、智慧や恵みがぎゅっと詰まっているのです。歴史に証明された「生きるための智慧」をぜひ一緒に学びましょう。

では「ヨガ」に「瞑想」を加える効果とは何でしょうか？

この講座では、「座りやすい身体を作る」ということもテーマの一つとしてヨガのプログラムの練習と瞑想はお互いに補完し合い、良い効果を与え合うものです。

通常、瞑想の実践者でヨガをする人は少なく、ヨガを実践する人の中でも日常的に瞑想を実践する（またはしている）人は少ないと思います。しかし、この二つは同じコインの裏と表の



Momo (モモ：小西涼瑜)

インドSYC正式資格アシュタンガヨガ指導者
高野山真言宗僧侶。月間延べ1,000名以上にヨガを指導。アジア最大のヨガイベントであるヨガフェスタでは10年間講師を務め、その他にもDVDへの出演、CMや雑誌の監修、企業での研修講師など多岐にわたって活動。また、高野山大学大学院修士課程で仏教を学び、高野山で出家（得度）。百日にわたる修行を成満して総本山金剛峯寺主催の伝法灌頂に入壇。飛鷹全隆法印より阿闍梨位を授かる。

<IYCプロフィール>

<https://iyc.jp/instructor/momo>

<YouTubeチャンネル>

<https://www.youtube.com/c/AshtangaYogaTemple/>

<ブログ>

<https://ameblo.jp/momoshanti/>

ようなものです。どこからアプローチをしていくかということが違うだけで、目指す場所や辿り着く場所は同じところなのです。

人間は、じっとしていると体を動かしたくなり、体を動かしてばかりいると静かに座ったりしたくなるものです。ヨガは瞑想しやすい体を作り、長く座った瞑想後の体の疲れを癒してくれます。また瞑想の実践は、ヨガの練習を助け、快適にしてくれます。この相乗効果を感じていただければ嬉しいですね。

「瞑想」にあたって気をつける点などはありますか？

「瞑想」が「迷走」にならないように気をつけましょう！というのは冗談ですが（笑）ここから先は少し突っ込んだ専門的な話になります。

「瞑想」をしている状態というのは、心が集中した状態を保つ中で自然に訪れるものです。逆に言うと「瞑想状態」を自分で作り出す事はできません。ですから、その前段階の集中状態をしつかりと保つことに気をつけてみてください。

気持ちが悪く落ち着かない日や、集中力が欠ける日、眠気に襲われやすい日などは誰にでもあるものです。まずは、瞑想の醍醐味である楽な、ゆったりとした気持ちを味わって座ってください。

「仏教ヨガ講座」にこれから参加してみようと考えている方へのアドバイスをお願いします。

あまり難しく考えずに、日常の中にヨガや瞑想仏教の考え方を少しプラスするような気持ちでご参加いただけたらと思っております。講座に参加してみてください。

「ヨガを深めたい」、「瞑想を深めたい」もしくは「仏教のことをもう少し勉強してみたい」と思ったらその分野を深く掘り下げて学んでみるのも良いと思います。

ヨガの練習も、仏教の修行も、大切なのは実践をすることです。一日のうちに少しの時間でも良いので、講座で学んだ事を自主的に練習してみてください。きつと多くの気づきがあるはず。そして、実践によって心身の状態が変化していくことが感じられるでしょう。

オフィス街では珍しい天井が

高く広々とした環境の中で、じっくりとヨガと瞑想を実践する、一般的なヨガスタジオではあまり見受けられない開放的な空間にMomo先生の落ち着いた声が静かに響きわたります。コロナ禍でストレスを感じる毎日

を過ごす方も、非日常を感じるを過ごす方も、適度に体を動かしてリラックスしていただけます。2021年度もオンラインで同時開催していますので、どこからでも参加ができ、他の参加者の目も気にせず自分のペースでヨガや瞑想に集中することも可能です。

* * *

コロナ禍でも多くの皆さまにご参加いただいた「仏教ヨガ講座」は、令和3（2021）年度より、新たにMomo先生の指導の下で開催しています。「ヨガ」や「瞑想」を通じて少しでも多くの皆さまに仏教との繋がりを感じていただきつつ、ご自身の身体と向き合いながら日々の生活に取り入れていただければと願っています。

※「仏教ヨガ講座」の最新情報については公式サイトをご覧ください。

<https://www.bdk.or.jp>

「仏教ヨガ講座」講師 小西涼瑜師に教わる

自宅で出来る 瞑想法

Let's Try "Meditation" at Home!



1. 床や椅子の上にゆったりと座ります

床に座る場合は、あぐらや半跏座がおすすめです。椅子に座る場合は、両足裏の全面が床につくように調整して座ります。どちらの場合もゆったりと背骨を伸ばし、体の余分な力をぬいてリラックスしていきます。手は楽に膝の上に置きます。

2. 全身をリラックスさせていきます

息を吐きながら、顔と頭から力を抜きリラックスさせます。
息を吐きながら、右腕から力を抜きリラックスさせます。
息を吐きながら、左腕から力を抜きリラックスさせます。
息を吐きながら、身体の前面から力を抜きリラックスさせます。
息を吐きながら、身体の背面から力を抜きリラックスさせます。
息を吐きながら、右脚から力を抜きリラックスさせます。
息を吐きながら、左脚から力を抜きリラックスさせます。



Point

体から力を抜いた時に頭が下向きになったり、背中が丸くならないように注意しましょう。

3. 全身がリラックスしたら呼吸の数を数えます（数息観）

ゆったりと吸って、吐いて（1セット目）、またゆったりと吸って、吐いて（2セット目）…というように、「吸うと吐く」を1セットにして1から10まで呼吸の数をかぞえます。

はじめは3～10分程度でも十分に瞑想の効果は得られますので、無理をせずに挑戦してみましょう。一日の中で、朝起きた時、寝る前、食事の前、など実践の時間を決めておくとう習慣化しやすいです。慣れてきたら20分、30分と瞑想の時間を長くしてみましょう。

Point

瞑想中に眠くなったら意識的に深呼吸をしてみましょう。

瞑想中に雑念がわいたり、集中が途切れたら、何度でも気がついた時に呼吸へ意識を戻します。

あまり難しく考えずに、一日のうちの少しの時間を「ゆったりとした気分を楽しむ」ために使ってみましょう。

海外協力機関のご紹介

北米地区

米国仏教伝道協会
ハワイ仏教伝道協会
カナダ仏教伝道協会

中米地区

メキシコ仏教伝道協会
メキシコ恵光寺

南米地区

南米仏教伝道協会

欧州地区

ヨーロッパ仏教伝道協会
ドイツ恵光日本文化センター
英国仏教伝道協会
ポーランド仏教伝道協会

アジア地区

アジア仏教伝道協会
台湾仏教伝道協会

日本国外には、現在9ヵ国10ヵ所にそれぞれ独立した“仏教伝道協会（通称：BDK）”があり、日本の仏教伝道協会と相互に連携しながら、特に『仏教聖典』の頒布活動を通じて仏教精神、仏教文化を伝えています。

海外協力機関のご紹介



お問い合わせ一覧

●各国での「仏教聖典」頒布やその他活動の詳細に関するお問い合わせは、お近くの仏教伝道協会までお願いします。

北米地区

米国仏教伝道協会
BDK America

1675 School Street,
Moraga, CA 94556 U.S.A.
Tel: +1(925)388-0067 Fax: +1(925)388-0331
<http://www.bdkamerica.org> (対応言語: 日本語・英語)

ハワイ仏教伝道協会
BDK Hawaii

1757 Algaroba Street,
Honolulu, HI 96826, U.S.A.
Tel: +1(808)942-1511 Fax: +1(808)942-2622
E-mail: bdkshi@hotmail.com
<http://www.bdkhawaii.com> (対応言語: 英語)

カナダ仏教伝道協会
BDK Canada

c/o Mitutoyo Canada Inc.
2121 Meadowvale Blvd.
Mississauga, ON, CANADA L5N 5N1
Tel: +1(905)821-1261 Fax: +1(905)821-4968
E-mail: honjo@bdkcanada.com
<http://www.bdkcanada.com> (対応言語: 日本語・英語)

中南米地区

メキシコ仏教伝道協会／メキシコ恵光寺
BDK Mexico

Prologación Eugenia No. 17, Colonia Nápoles,
Alcaldía Benito Juárez, CDMX, C.P.03810, MEXICO
Tel: 52(55)5543-0507
Email: difusion.eko@gmail.com (対応言語: 日本語・スペイン語)

南米地区

南米仏教伝道協会
BDK South America

a/c Mitutoyo Sul Americana Ltda.
Rodovia Índio Tibiriçá 1555, BAIRRO RAFFO, CEP 08620-000
SUZANO-SP, BRASIL
Tel: +55(11)5643-0006 Fax: +55(11)5641-3745
E-mail: bdk@mitutoyo.com.br (対応言語: 日本語・ポルトガル語)

欧州地区

ヨーロッパ仏教伝道協会／ドイツ恵光日本文化センター
BDK Europe/EKÖ-Haus der Japanischen Kultur e.V.

Brüggener Weg 6,
40547 Düsseldorf, F.R. GERMANY
Tel: +49(211)577918-0 Fax: +49(211)577918-219
E-mail: bdk@eko-haus.de
<http://www.eko-haus.de> (対応言語: 日本語・ドイツ語)

英国仏教伝道協会
BDK U.K.

c/o Mitutoyo(UK)Ltd. Joule Road, West Point
Business Park, Andover, Hampshire SP10 3UX U.K.
Tel: +44 1264-353123 Fax: +44 1264-354883
E-mail: BDK.UK@mitutoyo.co.uk (対応言語: 英語)

ポーランド仏教伝道協会
BDK Poland

c/o Mitutoyo Polska Sp.z o.o.
ul. Graniczna 8A 54-610 Wrocław, POLAND
Tel: +48(71)354 83 50 Fax: +48(71)354 83 55
(対応言語: ポーランド語・英語)

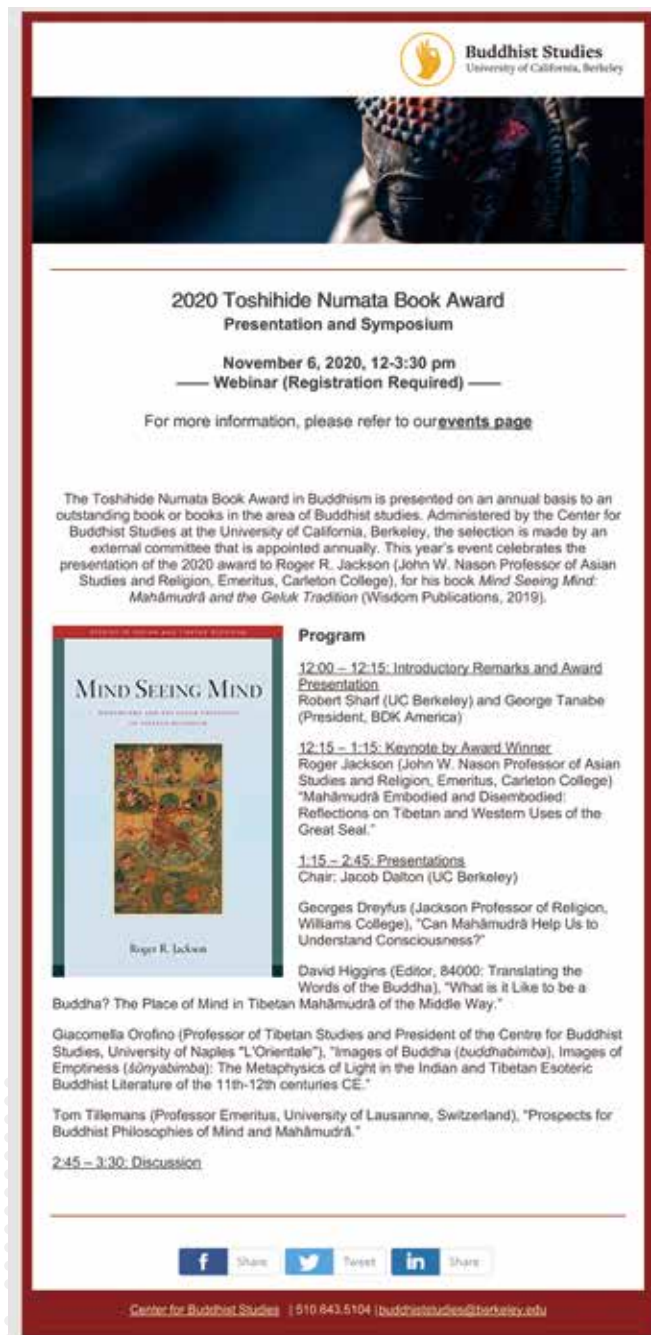
日本以外のアジア地区

アジア仏教伝道協会
BDK Asia

c/o Mitutoyo Asia Pacific Pte. Ltd.
24 Kallang Avenue, Mitutoyo Building,
Singapore, 339415, SINGAPORE
Tel: +65 6294-2211 Fax: +65 6299-6666
E-mail: bdk@mitutoyo.com.sg
<https://bdkasia.org> (対応言語: 日本語・英語・中国語)

台湾仏教伝道協会
BDK Taiwan

4F., No.71, Zhouzi St., Neihu Dist.,
Taipei City 114, TAIWAN (R.O.C)
Tel: +886(2)5573-5913 Fax: +886(2)8752-3267
E-mail: bdktaiwan@yahoo.com
<https://www.bdk.tw> (対応言語: 日本語・英語・中国語)

Buddhist Studies
University of California, Berkeley

2020 Toshihide Numata Book Award
Presentation and Symposium

November 6, 2020, 12-3:30 pm
— Webinar (Registration Required) —

For more information, please refer to our [events page](#)

The Toshihide Numata Book Award in Buddhism is presented on an annual basis to an outstanding book or books in the area of Buddhist studies. Administered by the Center for Buddhist Studies at the University of California, Berkeley, the selection is made by an external committee that is appointed annually. This year's event celebrates the presentation of the 2020 award to Roger R. Jackson (John W. Nason Professor of Asian Studies and Religion, Emeritus, Carleton College), for his book *Mind Seeing Mind: Mahāmudrā and the Geluk Tradition* (Wisdom Publications, 2019).

Program

12:00 – 12:15: **Introductory Remarks and Award Presentation**
Robert Sharf (UC Berkeley) and George Tanabe (President, BDK America)

12:15 – 1:15: **Keynote by Award Winner**
Roger Jackson (John W. Nason Professor of Asian Studies and Religion, Emeritus, Carleton College) "Mahāmudrā Embodied and Dismembered: Reflections on Tibetan and Western Uses of the Great Seal."

1:15 – 2:45: **Presentations**
Chair: Jacob Dalton (UC Berkeley)

Georges Dreyfus (Jackson Professor of Religion, Williams College), "Can Mahāmudrā Help Us to Understand Consciousness?"

David Higgins (Editor, 84000: Translating the Words of the Buddha), "What is it Like to be a Buddha? The Place of Mind in Tibetan Mahāmudrā of the Middle Way."

Giacomella Orofino (Professor of Tibetan Studies and President of the Centre for Buddhist Studies, University of Naples "L'Orientale"), "Images of Buddha (buddhabimba), Images of Emptiness (śūnyabimba): The Metaphysics of Light in the Indian and Tibetan Esoteric Buddhist Literature of the 11th-12th centuries CE."

Tom Tillemans (Professor Emeritus, University of Lausanne, Switzerland), "Prospects for Buddhist Philosophies of Mind and Mahāmudrā."

2:45 – 3:30: **Discussion**

Center for Buddhist Studies | 510.843.5104 | buddhiststudies@berkeley.edu

Toshi Awardシンポジウム2020



Toshi Awardオンライン対談：受賞者Jackson氏（右）とタナベ理事長（左）

米国仏教伝道協会 BDKアメリカ

(アメリカ・カリフォルニア州)

令和2(2020)年の 活動報告 まとめ

2020年は新型コロナウイルスの世界的感染拡大により、米国仏教伝道協会（以下BDKアメリカ）の活動も甚大な影響を受け、多くの変更を余儀なくされました。継続的に行ってきたホテルへの「仏教聖典」の頒布活動は滞り、対面での活動は中止せざるを得ませんでした。非常に困難な状況の中、電話、メールや

Zoom（ズーム）などを使用して出来る限りの活動を行いました。そのような難しい1年ではありましたが、出版事業については進捗もありました。日本の仏教伝道協会の協力のお蔭で、初めての「米国版英文仏教聖典」を刊行することが出来ました。米国版は、通常の「英文仏教聖典」と内容は変わりませんが、フォーマットを変更しており、米国内で印刷することによって、より効率的に幅広く米国内に頒布することが可能になりました。通常の頒布数としては大幅に減少しましたが、このような時期でもアメリカ軍の様ざまな基地から計10,500冊もの

寄贈依頼をいただきました。「英訳大蔵経」の編集事業では、500ページ以上にも及び過去最長ともいえる項目である『法苑珠林』を刊行しました。「英訳大蔵経」シリーズは、このような状況下でも需要は変わらず、書籍版、PDF版共に順調に推移しました。さらには、ケネス・タナカ師（武蔵野大学名誉教授）の『Jewels: An Introduction to American Buddhism for Youth, Scouts, and the Young at Heart（宝石：若者・スカウト・心が若い大人のためのアメリカ仏教）』を一般の読者、特に若年層をはじめとする方がたに向け

刊行しました。こちらの書籍版については、個人へは購入をお願いして



米国仏教伝道協会

ハワイ仏教伝道協会



KOLOA Jodo Missionにて（左からタナベ理事長、青木常務理事、山下理事）

いますが、教育機関等の法人へは寄贈も行っています。PDF版はBDKアメリカの公式サイト内で無料公開しており、どなたでも気軽に読んでいただけます。

そして2020年度の「沼田智秀仏教書籍優秀賞（通称：Toshi Award）」はロジャー・ジャクソン氏（アメリカ・カールトン大学名誉教授）の『Mind Seeing Tradition（心を見る心：大印契とチベット仏教のゲルク派の伝統）』

が受賞し、11月6日にZoomを利用して開催した授賞式ならびにシンポジウムには世界中から100名を超える方がたが参加されました。

新型コロナウイルスの世界的な蔓延は全ての人びとに様々な気づきを与え、今何をすべきなのかを教えてくださいました。これを機にBDKアメリカの公式サイトも、より見やすく使いやすくなるように新しくしましたので、ぜひご覧ください。

www.bdkamerica.org

ハワイ仏教伝道協会
BDKハワイ
(アメリカ・ハワイ州)

令和2(2020)年の
活動報告 まとめ

2020年のハワイ仏教伝道協会（以下BDKハワイ）の活動は、新型コロナウイルスの世界的感染拡大の深刻な影響を受けました。ハワイ州内のホテルは全て一時閉館となり、夏の風物詩である寺院での盆踊りも中止、そしてBDKハワイが最も大切にしてきた「仏教聖典」頒布機会の多くは奪われてしまいました。しかしながら感染が拡大する前の2020年3月6日に理事会を開催することができ、日本からは青木

晴美氏（仏教伝道協会常務理事）、カリフォルニアからは山下美喜男氏（米国仏教伝道協会）の出席が叶いました。

対面での講座は中止を余儀なくされましたが、Zoom（ズーム）を使用することで、ふたつのイベントを開催することが出来ました。6月27日には「Understanding Trauma（トラウマを理解する）」と題し、11月14日には「I'm Not Okay but It's Okay（私は大丈夫ではないけれど、それでも大丈夫）」と題し、困難な状況下でも仏教とネイティブ・ハワイアン文化から精神的な安らぎを学ぶワークショップを開

催しました。両イベントは、BDKハワイ・フジタニ宗教間対話プログラムの支援を受け、コロナ禍でそれぞれが直面する困難に立ち向かう話を話し合いました。

さらにZoomを利用し、ハワイ本願寺の体験ツアーを開催、100名以上の方がたにご参加いただきました。この1年で、たくさんの対面での機会が失われましたが、反面Zoomを利用することにより場所を問わず多くの方に参加いただく事ができました。2021年には健康的な生活と経済活動が戻る事を願ってやみません。

Understanding Traumaワークショップ・チラシ



2020年8月公開の平和祈念動画の表紙（紙芝居を披露するメキシコ恵光寺横尾氏：右下）

メキシコ仏教伝道協会 メキシコ恵光寺 BDKメキシコ (メキシコ)

令和2(2020)年の
活動報告 まとめ

「開かれたお寺」としても近年幅
広く親しまれているメキシコ恵光
寺を運営するメキシコ仏教伝道協会

(以下BDKメキシコ)ですが、
2020年も有意義な活動を！と
張り切っていた矢先の2月末にメキ
シコで最初の新型コロナウイルスの
感染者が報告されました。3月19日
に開催した「大正浪漫ジャズピアノ
コンサート」を最後にBDKメキシ
コも一時閉鎖を余儀なくされまし
た。

しかしながら閉鎖前の2020
年1月、2月を振り返ると、道場

活動の他、メキシコ
国内仏教団体との定
例意見交換会、本堂
や庭での音楽イベン
トやブックフェア、
小学校での紙芝居
上演とプチ法話、中
村行明禅師等による
特別法話、味噌作り
教室等々、実に様々
まな企画を実施する
ことができました。
そして、こうした活
動に参加された方が
たに「仏教聖典」スペ
イン語版を300冊
以上直接手渡す事が
でき、カレンダーは
2,500部も頒布
する事ができまし
た。
誰も予想できな



改修工事に伴うご本尊遷仏（戸高住職：左）

かつたコロナ禍ですが、どのよう
に考え、行動するのか、自然の一部と
しての人間本来の在り方を問われた
ような気がします。世界中が「ステ
イホーム」でも、できる活動はたく
さんあり、むしろ今こそ仏教が求め
られていると感じました。
まずはメキシコ国内で、より多く
の方が仏教書籍に触れる機会を増や
すべく、日本の仏教伝道協会（以
下BDK）が刊行している『さと
りの知恵を読む』、『GUIDE TO
BUDDHISM IN JAPAN』、『A
LIFE OF THE BUDDHA』をスペ
イン語に訳しました。一章ごとにS

NS等で公開すると、「今こそ聞き
たい教え」と毎回大きな反響をいた
だきました。
また、「仏教聖典」はメキシコ国内
の大学、病院、刑務所、企業等、一
年間で約3,000冊を頒布しまし
た。その他、各家庭で、仏教・日本
文化に触れていたかどうかと、BDK
発行の紙芝居『ブツダ』のスペイン
語版をはじめ、日墨友好史エピソード、戦争と平和などをテーマにした
紙芝居を公開し、好評を得る事がで
きました。
座禅の会や仏教勉強会である「恵
範塾」はオンラインにて継続開催し
ていますが、オンラインでの開催の
お蔭で普段参加が叶わないような各
地から参加者が増え続けています。
また、2020年11月半ばよりBD
Kメキシコの全面改修工事が始ま
り、2021年7月完了予定です。
先が読めない状況ですが、リニュー
アルオープンに向けて様々な企画
を進めています。メキシコでは大変
悲しい事に、感染者のうち約10パー
セントが亡くなるという状況です。
これを機に、自然と共生していく道
を模索していかなければなりません。ウ
イルスも含め、あらゆるものは関係
しあつて生滅するという真理に沿っ
て行動すること、それが犠牲となっ
た方がたへの供養と考え、精進ある
のみです。

メキシコ仏教伝道協会

台湾仏教伝道協会



台湾仏教伝道協会
B D K台湾
(台湾)

「台湾仏教伝道協会」
新担当者のご紹介

社団法人「台湾仏教伝道協会」
(以下 B D K 台湾) は平成 12

(2000)年に設立され、台湾の
ホテルや公共施設等への「仏教聖典」
頒布活動に尽力しています。

令和3(2021)年1月より、

B D K 台湾は新たな体制で活動を開
始しました。今後も台湾での「仏教
聖典」頒布を始めとして、様々な
機会を提供してまいります。活動の
詳細は B D K 台湾の公式サイトをご

覧ください。

<https://www.bdk.tw/>

●堤佳夫 (理事)



この度、台湾仏教伝道協会の理
事を拝命いたしました。平成 18
(2006)年〜平成 25(2013)
年の7年弱、理事を務めさせていた
だきましたが、正に縁がありまして
2度目の就任となります。

仏教思想が生活になじんでいる台
湾で、再びこのような機会が与えら
れ大変嬉しく思っております。微力
ながら、仏教伝道に少しでもお役に
立てるよう尽力いたしますので宜し
くお願い申し上げます。

●林小竹



令和3(2021)年1月より秘
書を務めさせていただいております。
仏教に関わる仕事に携わること
ができて、大変光栄で嬉しく思いま
す。微力ながら、仏教伝道活動に、

そして皆様のお役に立てるよう頑
張っていきたいと思っておりますので、何
卒宜しくお願い申し上げます。

●傅玉娟



平成 30(2018)年9月に「仏教
聖典」寄贈の専任担当として台湾仏教
伝道協会に配属になりました。「仏教
聖典」の寄贈活動を中心に年間新規
240件の目標をもって活動をして
おりますが、2020年は新型コロナ
ナウイカスの世界的感染拡大の影響
によりホテルなどへの新規開拓が出
来ない状況が続いています。また、
教育機関からは「政治、宗教に関す
る書籍の設置は出来ない」等と言わ
れる事もあり、つまずいてしまう事
も多々あります。

様々な出来事がありながらも、
これまで仏教伝道協会ですんだ事
や、元もと仏教に馴染みのある国で
ある事を生かし、これから市立図書
館や病院、仏教機構などあらゆる場
所へ「仏教聖典」の寄贈をひろげてま
いります。何卒宜しくお願い申し上
げます。

B D K 台湾関係者(左から…洪嘉敏氏、
傅玉娟氏、堤佳夫氏、林小竹氏)(上)
B D K 台湾オフィス「仏教聖典」
などのディスプレイ(下)





マハ モンクカット仏教大学にて：記念撮影をする卒業生たち



卒業式で配布される「仏教聖典」

アジア仏教伝道協会 BDKアジア (シンガポール)

令和2(2020)年の 活動報告 まとめ

アジア仏教伝道協会は平成11(1999)年に設立されました。アジア諸国のホテルへの「仏教聖典」頒布活動に尽力しています。過去にタイ国の王女へ32カ国語版の「仏教聖典」を寄贈させていただいた実績もあり、またタイ・ホテル協会に50,000冊の「仏教聖典」を寄贈しています。

2020年は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の状況があり、思うような活動ができませんでしたが、ミットヨ・タイランドの協力を得てタイ国内各所へ「仏教聖典」を寄贈する事ができました。

●マハ モンクカット仏教大学

2020年11月21日、マハモンクカット仏教大学の卒業式リハーサルに参加し、卒業生とその関係者に「仏教聖典」を1,500冊配布させていただきました。

今回のイベントへの参加は昨年引き続き2回目となりましたが、今後は同様の活動を他の大学でも行ってみたいと考えています。

●タイ刑務所

タイ国内の全142か所の刑務所附属の図書室へ「仏教聖典」を11,540冊寄贈しました。

図書室の設置は、シリントーン王女殿下が受刑者の更生のために考案されたものであり、その貴重な場所で「仏教聖典」が役立つことを願っています。

🇸🇬 アジア仏教伝道協会



報恩講法要（オンライン配信の様子）



公式Youtube



オンラインでの報恩講セミナー（講師：桑原浄信師）

🇩🇪 ヨーロッパ仏教伝道協会

ヨーロツパ仏教伝道協会 恵光日本文化センター BDKヨーロッパ （ドイツ）

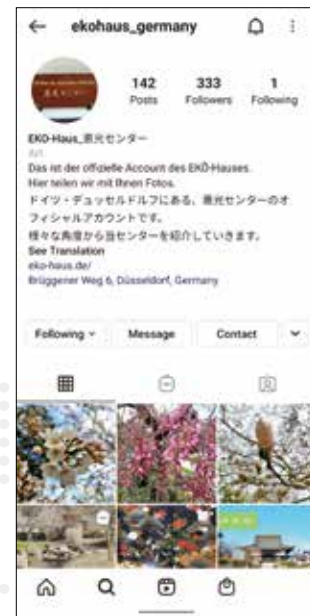
令和2（2020）年の 活動報告 まとめ

新型コロナウイルスの感染拡大により、2020年春より恵光日本文化センター（以下恵光センター）は6月から10月までを除き臨時休館を余儀なくされました。そこで、休館中でも当センターの様子や景色を多くの方がたに見てもらい、また行事や活動をもっと広く知っていただきたいとの願いからInstagram（インスタグラム）のアカウントを2020年4月に開設しました（アカウント名：ekohaus_germany）。

また、7月からは本堂での法要に關しても参加者が入る事が出来なくなつたため、読経の様子や法話をYouTube（ユーチューブ）で配信することも始めました（チャンネル名：EKO-Gemeinschaft）。

オンラインでの講義を夏から開催していましたが、これらの講座を対面で開催することができなくなつたため、オンラインでの講義を夏から開催していません。オンライン開催により、ドイツ国外からでも参加が可能になり新規受講者が増えました。しかしながら、インターネット環境がない既存の参加者が参加できなくなつたというデメリットもありました。

11月には報恩講（浄土真宗宗祖である親鸞聖人の命日の法要）が勤められ、「報恩講セミナー」など11月27日から29日の3日間にあつて開催。セミナーならびに法要は完全オンラインで行い、桑原浄信師（浄土真宗インターナショナルオフィス事務局長・バークレー仏教会駐在開教使）にご講義いただきました。オンラインでの開催ということもあり、欧州のみならず普段は参加できない日本、インド、ブラジル、アメリカ等世界中の方がたにご参加いただく事ができました。



公式Instagram

さらに恵光センターでは毎月、日本語での『歎異抄』講座、ドイツ語での仏教入門講座と仏教思想講座を開催してまいりましたが、これらの講座を対面で開催することができなくなつたため、オンラインでの講義を夏から開催してまいりましたが、これらの講座を対面で開催することができなくなつたため、オンラインでの講義を夏から開催していません。オンライン開催により、ドイツ国外からでも参加が可能になり新規受講者が増えました。しかしながら、インターネット環境がない既存の参加者が参加できなくなつたというデメリットもありました。

人生（じんせい）

人の一生が人生ですが、この人生は旅にたとえられます。

旅において大切なことは、目的地がはっきりしていることです。

目的地が定まらないまま、あてもなくさまよい歩くのは旅ではなく、放浪です。

あるところで、「私は死んだらどこに行くのでしょうか」と尋ねられました。

「〇〇に行きたいのですが、どの道に行けばいいのですか」と尋ねられたのなら、

「この道を行きなさい」と答えられますが、

「どこに行くのか」と尋ねられたら返答に困ります。

大切な大切なわが「いのち」、どこに行くのかあてもなく、

さまよい歩いて行き倒れるようなことで本当にいいのでしょうか。

人生は旅といいますが、どこに向かったの旅なのでしょうか。

み教えに生きた私たちの先人は、

人生は「さとり之国」（浄土）への旅であると、

一生を一日一日、一步一步確かな足取りで歩み続けました。

（仏教伝道協会 第二代会長 沼田智秀 『ささえあって』 一百八つのおもいより）